

“しょうちいき つうしん”



編集発行／葛飾区社会福祉協議会 小地域福祉活動推進課

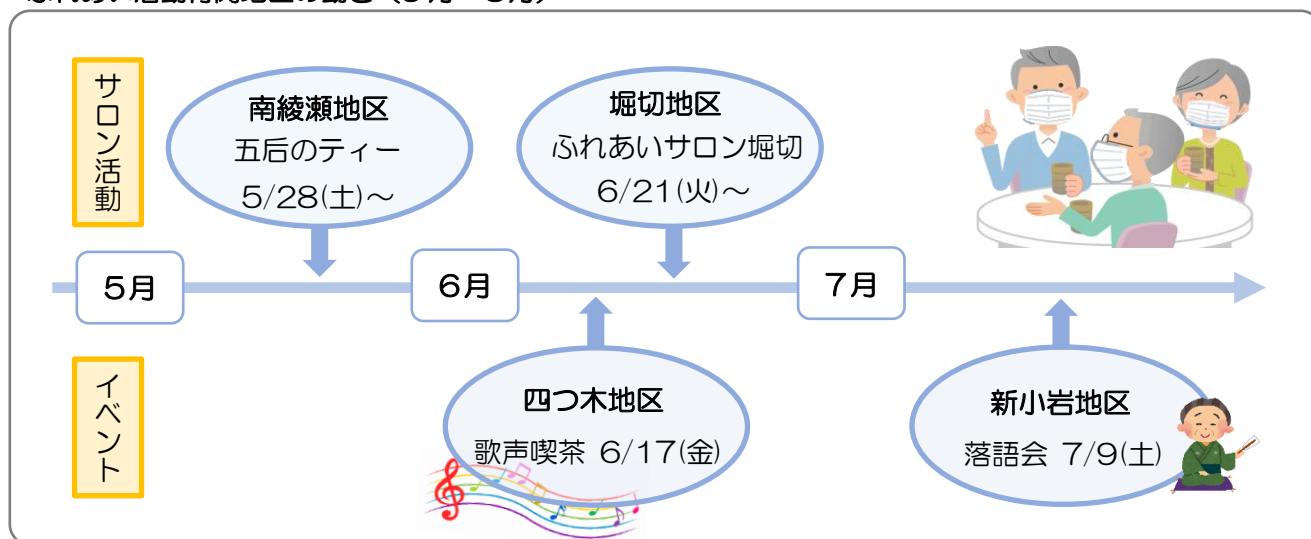
コロナ禍の各地区の動きをピックアップ!

住民同士のふれあい活動を再開した地区について(5月～8月)

5月～8月にかけて、約2年ぶりに住民同士がふれあう活動を再開した地区が4地区ありました。現在は、新型コロナウイルス第7波が到来しており予断を許さない状況ではありますが、今後の活動について「どうしようか…」と悩まれている場合には、各地区の担当職員にぜひご相談ください。

また、現在も感染症対策を徹底したうえで活動を継続している地区がありますので、P.3「各地区小地域福祉活動の活動報告」もあわせてご覧ください。

ふれあい活動再開地区の動き (5月～8月)



〈情報紙に関するご意見・ご要望等〉

しょうちいきつうしんは年に4回発行しています。今後、取り上げてほしい情報や内容などがございましたら、お気軽に各地区担当へご連絡ください。よろしくお願ひいたします。

もくじ

- ・小地域福祉活動を再開した地区について …P1
- ・「奥戸ふれあいネット」の紹介 …P2
- ・各地区小地域福祉活動の活動報告(5～8月) …P3～6
- ・発見! 全国各地の小地域福祉活動 …P7
- ・「ふれあいサロンあきみつ」の紹介 …P8

今回は「奥戸ふれあいネット(奥戸地区小地域福祉活動推進委員会)」をご紹介します。

奥戸地区の取り組み

奥戸地区の連合町会と民生委員児童委員協議会が中心となり、地域の方々をはじめ、福祉関係者、高齢者クラブ等、多くの方が参画しています。身近な地域で「ふれあう」「支えあう」「助けあう」しくみを築き、だれもが安心して暮らせる福祉のまちづくりに向けて「ふれあい事業」と「サロン活動」に取り組んでいます。

ふれあい事業

年2回、奥戸総合スポーツセンターで、認知症予防のゲームや脳トレ・筋トレ等のイベントを開催しており、毎回100名以上が参加しています。たくさん笑いながら、多くの人とふれあうことで、交流の場・仲間づくりの場となっています。コロナ禍は開催していませんでしたが、今年の11月、約3年ぶりとなるふれあい事業を開催予定です。



令和元年5月21日(火) 認知症予防ゲーム



令和元年11月21日(火) 笑いと健康
～脳トレ・筋トレ・脂肪トレ～

サロン活動

「笑顔で会いましょう」、「ゆずの会」の2つのサロンが定期的で開催されています。サロンでは、体操や脳トレのほか、手先を使う万華鏡づくりや塗り絵などの活動も行っています。

1人ぐらしの参加者からは、「このサロンがなければ一言もしゃべらないこともある」という声も聞かれます。また、サロンのことが話題になって、家族との会話が増えたという人もいます。

笑顔で会いましょう



※P6参照

ゆずの会



※P6参照

活動者の声

- ・サロン活動は、自分が楽しんでいるからできるし、特別なことをやっているわけではないと思っています。
- ・現在の課題は、運営に携わる人、「後継者」への引継ぎです。
- ・町会加入率の低下や運営する人の高齢化に直面する中で、地域全体の取り組みとしての小地域福祉活動を今後どのようにしていくかも課題です。

サロン合同のイベント(年1回)



歌声喫茶

各地区小地域福祉活動の活動報告(5月～8月)

新型コロナウイルスの感染拡大防止対策を行いながら、活動を再開・継続している地区を紹介します。(マスクの着用・検温・消毒・換気などの感染対策を徹底して実施しています。)

〔敬称略〕

堀切地区

★ふれあいサロン堀切

内 容：お茶のみサロン

日 時：毎週火曜日、木曜日

午後1時30分～3時30分

会 場：堀切地区センター

2階 図書コーナー

参加者：10～15名

「久しぶりに参加できて嬉しい。」「待ちに待ったサロン！他に行く場所なかったの。」と参加者からサロン再開の喜びの声をいただきました！



南綾瀬地区

★五後のティー

日 時：5月28日(土)水害ハザードマップについて

6月25日(土)フォークダンス

7月23日(土)座りながらできる体操

8月27日(土)フラダンス

※いずれも午後2時～4時

会 場：南綾瀬第二集い交流館

参加者：30名



5月は葛飾区地域防災課による「水害ハザードマップ」のお話で、災害時の避難場所や方法を確認しました。



7月は座りながらできる体操を行い程よく身体を動かしました。

各地区小地域福祉活動の活動報告(5月～8月)

新小岩地区

★落語会

内 容：かつしか落扇指南所による落語
日 時：7月9日(土)
午前10時30分～12時30分
会 場：新小岩地区センター ホール
参加者：45名



30分に1回程の細めな換気を実施!

四つ木地区

★歌声喫茶

内 容：琴伝流大正琴アンサンブル泉会による童謡・唱歌『夕焼け小焼け』、人生の応援歌『手のひらを太陽に』などテーマを分けた全15曲の演奏

日 時：6月17日(金)
会 場：四つ木地区センター3階ホール
参加者：43名



参加者はマスクを二重に着用
唄う際の飛沫を徹底的に防止!

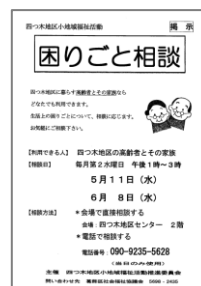
★困りごと相談

内 容：四つ木地区にお住まいの高齢者とそのご家族を対象に困りごと相談を受ける(予約不要)

日 時：毎月第2水曜日 午後1時～3時
会 場：四つ木地区センター 2階小会議室



“困りごと相談”
の旗が目印です!



困りごと相談の開催日は、
町会回覧や掲示板上でお知らせ♪

各地区小地域福祉活動の活動報告(5月~8月)

高砂地区

★見守り活動

内 容：70歳以上の希望者に“さりげない見守り”を行っています。
日常生活の困りごとを相談できるよう「困ったときの連絡先」も配布しています。

さりげない見守り？

洗濯物が干してあるか、郵便受けにものがたまっていないか、雨戸は閉じたままになっていないかなどの見守りを、日常生活で近くを通りがかった際に行います。



年1回は安否確認を兼ねた在宅訪問を実施

東金町地区

★朝のラジオ体操の集い

内 容：ラジオ体操
日 時：毎月第2・4日曜日
午前8時~8時30分
会 場：区立わかば公園
参加者：約30名

“黄色いのぼり旗”
が目印です！



身体を動かすと免疫力もアップ！

金町地区

★サロン会

内 容：地域の方が気軽に立ち寄れる「サロン」
※創作内容は毎月変更
日 時：毎月第2水曜日 正午~午後3時
会 場：金町地区センター 2階ロビー
講 師：金町地区小地域福祉活動推進委員会
参加者：10~30名



▶ビーズや紐から制作したストラップ
毎月の趣向を凝らしたテーマは、
参加者から大好評！



各地区小地域福祉活動の活動報告(5月~8月)

亀有地区

★亀有花風船の会

第29回イベントを開催しました。

①茶話会

日時：6月6日(月)午前9時~11時

会場：亀有地区センター多目的ホール

参加者：74名

②花植え

日時：6月8日(水)午前8時~9時30分

会場：亀有駅前花壇

参加者：28名



茶話会は、健康体操とスライド上映(植物の増やし方)を行いました♪



少し肌寒い梅雨空でしたが、千日紅、ひまわり、ペチュニアなどの植え付けを行いました✿

【花風船の会の取り組み】

●通常活動

亀有駅南口・北口花壇の水やりや花柄摘みを毎週水曜日と土曜日に行っています。

●年間活動

花壇の植え付け後、亀有地区センターにて健康体操や防災のお話を聞くなどの茶話会を年3回開催しています。

奥戸地区

★笑顔で会いましょう

内容：体操など

日時：毎週木曜日

午後1時30分~2時30分

会場：東奥戸集い交流館

参加者：10~15名



ソーシャルディスタンスをとってみんなで元気に体操しています。



★ゆずの会

内容：脳トレなど

日時：毎週月曜日

午後1時30分~3時

会場：西奥戸憩い交流館

参加者：10~15名



脳トレや手芸などを行っています。



発見！！全国各地の地域福祉活動

このコーナーでは、全国各地で行われている様々な地域福祉活動を紹介しています。今月号は、「コロナ禍の地域福祉活動」をテーマに、工夫と感染症対策をしながら“人と人のつながりを絶やさない”活動を行っている2地域を取り上げご紹介します。

① 小学生と高齢者施設のオンライン交流会(宮城県美里町)

コロナ禍で直接交流が軒並み中止となるなか、学校と地域とともに「離れてつながる」出会いの機会づくりを進めています。2020（令和2）年度は地域の高齢者から小学生へ動画メッセージをもらい、小学生が手紙を書いて届けるという「にっこり手紙プロジェクト」を実施しました。

2021（令和3）年度は学校でWi-Fi環境が整備されたことにより、児童たちが**オンラインでの交流会を企画・実施**しました。町内4つの小学校（4年生）と、それぞれの小学校区にある高齢者施設が参加し、インタビューやクイズ、歌や演奏、お手玉やけん玉の披露などを行いました。「離れていても、心はつながることができる」と信じて“つながり”の活動を続けています。



② 子どもも大人も“わくわく！芋ほり”（埼玉県春日部市）

「子どもの居場所づくり」の取り組みが、コロナ禍のため開催できない状況となりました。そのような中、ボランティアから「自分が借りている畑を使って、何か活動できないか」との声がありました。

そこで、小学生以下の子どもの保護者を対象に、ボランティアと一緒に農作業をする機会を設けました。現在はサツマイモ・ジャガイモ等を育てており、収穫の際には子どもも大人もみんな大喜びで参加しているそうです。回数を重ねるごとに、子どもとボランティアだけでなく、子ども同士、保護者同士でも声をかけ合う等、**多世代交流の場**となりました。

ボランティアの平均年齢は76歳ですが「子どもたちが喜ぶ姿を見ると自分も元気になれる。活動が楽しみ！」と朝早くから準備をしたり、自らチラシを作成し、収穫の際にサツマイモについて学ぶ機会をつくる等、積極的に活動に関わっているそうです。



ご紹介した地域では、コロナ禍でも工夫して“支えあいの地域づくり”に取り組んでいます。

- Point**
- ① 直接顔を合わせなくてもつながれる取り組み
 - ② 農作業を通じた多世代交流の場づくり

全国の事例は、全国社会福祉協議会『未来の豊かなつながりアクション』より引用しています。コロナ禍において、少しでもみなさまが地域でつながりを絶やさないための活動を続けていくヒントになれば幸いです。

全国社会福祉協議会『未来の豊かなつながりアクション』ホームページはこちら

<https://tunagari-action.jp/>



誰でも気軽に立ち寄れる居場所

ふれあいサロンあきみつ のご紹介



葛飾区社会福祉協議会は、区民の方が身近な地域で気軽に立ち寄ることができる「居場所」づくりに取り組んでいます。この居場所では、立ち寄った方が交流を図ることで地域コミュニティを活性化したり、生活課題の発見・相談・対応などができる多機能的な「居場所」を目指しています。

今年の1月にオープンした「ふれあいサロンあきみつ」(東金町4丁目)は、毎週火～土曜日(祝日・年末年始は除く)の午前9時～午後4時まで開所しており、立ち寄った方がお茶を飲んだり、おしゃべりすることができる居場所です。また、このサロンでは地域の団体等と連携して、相談会や学習支援などのメニューも展開しています。

◆ふれあいサロンあきmitsuの様子



赤い旗が目印です。



地域住民の交流を促進し、昔ながらの人と人とのつながりを取り戻すことで、誰もがいきいきと暮らすことができる地域を目指しています。



◆日替わりメニュー

① 福祉相談会

主催：葛飾区社会福祉法人ネットワーク
内容：地域の方の悩みごとを専門家がお伺いします。



② 子どもの居場所

主催：NPO法人ハーフタイム
内容：子どもたちが集まり楽しく一緒に遊びます。



③ 元気回復活動

主催：金町WRAP(かなまちらっぷ)
内容：9月はワークショップを行います。テーマ「心の健康(元気)に気づいてみよう」日々の生活の工夫を参加者で話し合い、自分自身の新たな気づきを体験！



日替わりメニュー？

区内の地域団体、ボランティア団体、NPO等がイベントを企画して運営します。

仲間づくりの場、出会いの場、課題の発見や解決につながる場等、様々な団体と協力しながらより良い居場所づくりを進めています。

(お問い合わせ)

小地域福祉活動推進課 03-5698-2435